

**SOUNDS GOOD®がコンセプトリニューアル
音の資産を継承する“BRANDED AUDIO STORAGE”へ
クリエイターと企業との新しいコラボレーションの形を提案**

SOUNDS GOOD®

BRANDED AUDIO STORAGE

株式会社 QUANTUM (本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：高松充、以下「quantum」、読み方：クオインタム) と株式会社 オトバンク (本社：東京都文京区、代表取締役社長：久保田裕也、以下「オトバンク」) が共同で設立した、『SOUNDS GOOD®』(代表：安藤紘、以下「SOUNDS GOOD®」) は、この度コンセプトを“ブランデッドオーディオレーベル”から“BRANDED AUDIO STORAGE (ブランデッドオーディオストレージ)”に一新たしました。

SOUNDS GOOD®は、「企業のもつ個性を、音を通して資産化し、継承する」ことをより一層追求していくために、この度のコンセプトリニューアルにいたりました。SOUNDS GOOD®が作る“音の資産”はコンテンツとしての価値だけでなく、サンプリング音源やインスピレーション元としての価値もあることを知り、この度レーベルからストレージという存在にアップデートします。

新たに「Get Inspired by Noises. / ノイズはあなたの感性を刺激する。」をクリエイター向けのキャッチコピーとし、コンセプトリニューアルに先立ち NEUT Magazine と実施したコラボレーションで、詩人・伊藤紺とイラストレーター・小林千秋に東京ガスの音から得たインスピレーションを基に作品を生み出していただいたように、これまで多数コラボレーションを実施してきた音楽アーティストだけでなくイラストレーター、写真家など様々なジャンルのクリエイターの方々とコラボレーションしていきたいと考えています。

また、9月9日(水)には、『企業とアーティストの新しい関係から生まれる次世代のブランディング-音の資産で継承する-』と題した無料公開オンライントークセッションの開催も決定。企業のもつ個性を音の資産として残すということ、音として残すからこそそこには写真や映像にはない「余白」が生まれること、その「余白」に音楽アーティストやイラストレーター、写真家といった様々なクリエイターたちが自分たちの魂を吹き込むことで、企業の音の資産を未来へと意味ある形で継承していくことができるということなど、音を活用した次世代のブランディングについて有識者を迎えてお話しします。

SOUNDS GOOD®は今回のブランドコンセプトリニューアルを経て、コンセプトに共感いただける企業やクリエイター、アーティストとともに、音の資産を継承し、新たなチャレンジを続けてまいります。

■コンセプトリニューアルの背景

これまで SOUNDS GOOD®はノイズを楽しんでもらうことに重きを置いてきましたが、様々な企業やアーティストとコラボレーションをさせていただく中で、音を“資産”として残すことにより強く価値を感じるようになりました。そして音の資産を残す手段として、これまでのように音楽アーティストとコラボレーションするだけでなく、様々なクリエイターたちとコラボレーションができる可能性があると考えました。

そこで、今までの“レーベル”というコンセプトを進化させ、より幅広い意味で音の資産を記憶する“ストレージ”を目指すという結論に辿り着きました。

音には映像や写真と比べて「余白」があり、その余白にクリエイターたちが魂を込めることができるとSOUNDS GOOD®は考えます。抽象的だからこそ色あせず、時が流れてもその都度新たな魂が込められ、その時代の中で存在していくことができる。“音の資産”だからこそ残していけるもの、繋いでいけるものがあるという考えの元、SOUNDS GOOD®ならではのチャレンジを今後も展開して行くために、音のストレージとしてこれまで以上に多くの“音の資産”と向き合っており、参ります。

■無料公開オンライントークセッション

『企業とアーティストの新しい関係から生まれる次世代のブランディング-音の資産で継承する-』



[イベント概要]

昨今の新型コロナの影響で、今まで当たり前にあったものがなくなってしまうことが、これから当たり前になっていくかも知れません。大事な資産を“音の資産”として残す行動を取ってみませんか。音楽アーティストやイラストレーター、写真家などの様々なクリエイターたちが音の「余白」に自分たちの魂を吹き込むことで、未来に意味のある形で継承していくことができると考えています。そんな企業とアーティストの新しい関係作りに2019年3月から取り組んできたBRANDED AUDIO STORAGE [SOUNDS GOOD®]が有識者を迎えて、音を活用した次世代のブランディングについて語る時間をお届けします。

開催日時：2020年9月9日(水) 18:30~20:00 (予定)

登壇者：

(スピーカー)

SOUNDS GOOD®代表 安藤 紘 (quantum)

株式会社オトバンク 代表取締役社長 久保田 裕也

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 松永 有理

株式会社博報堂ケトル クリエイティブディレクター/プロデューサー 畑中 翔太

株式会社ニッポン放送 番組プロデューサー 富山 雄一

(ファシリテーター)

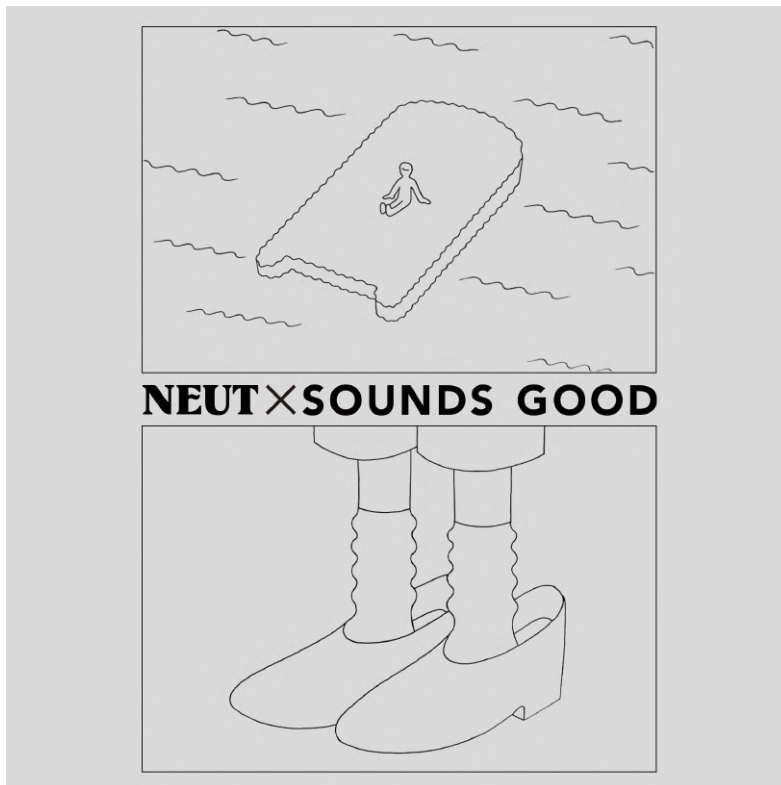
KESIKI INC. Partner 井上 裕太

詳細・お申込み：<https://sgs-talksession000.peatix.com>

■SOUNDS GOOD®×NEUT Magazine

リニューアルに先立ち、コンセプトに共感いただいた NEUT Magazine とのコラボレーションが実現しました。東京ガスの音源を使って、歌人やイラストレーターとのコラボレーションにより、音の資産がもつ可能性を広げる取り組みです。

・『静けさ Inspired by TOKYO GAS on SOUNDS GOOD』詩：伊藤紺 / 絵：小林千秋 | 「In the noise -音の中に。」



<http://neutmagazine.com/in-the-noise-1-soundsgood-neut>

東京ガスの音源 Full-time FDI Regenerative Burner - GAS BURNERS ISSUE に歌人 伊藤紺が詩を書き、その詩と音にインスピレーションを得たイラストレーターの小林千秋が記事全体のアートディレクションを担当しました。

<参加クリエイター>

●歌人・伊藤紺

1993年生まれ。2014年より執筆活動、2016年より作歌をはじめ。2019年、歌集『肌に流れる透明な気持ち』を刊行。2020年、新作詩集を刊行予定。

●イラストレーター/グラフィックデザイナー・小林千秋

1996年福島県生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒。ライフワークとしてシンプルな線と構図を用いたイラスト作品をInstagramを中心に展開。今年3月には初個展「四角を走る run the square」を開催。8月7日から VOILLD にて個展「Tuning」を開催。

今後も、様々な分野で活躍するアーティストとのコラボレーションを行い、音の資産継承を目指してまいります。

■ BRANDED AUDIO STORAGE 『SOUNDS GOOD®』について (<https://soundsgoodlabel.com/>)



音の資産で継承する。SOUNDS GOOD®は、企業の個性や象徴とも呼べる事業を、写真や映像に比べて想像を掻き立てるための「余白」がある“音の資産”として残し、様々なクリエイターたちとのコラボレーションから、その「余白」に彼らの魂を吹き込むことで、未来に意味のある形で継承していく事業です。工場の製造ラインで発生する特徴的な音や、製品使用時の音といった“ブランドを象徴する音”を企業やブランドの“音の資産”として捉え、音楽アーティストやイラストレーター、写真家などの様々なクリエイターたちとのコラボレーションから生まれるコンテンツとして提供。企業と生活者、消費者の新たな接点を生み出しています。

<概要>

名称：SOUNDS GOOD® (読み方：サウンズグッド)

所在地：東京都港区芝浦 1-13-10 9F quantum 内

代表：安藤紘 (quantum)

WEB サイト：<https://soundsgoodlabel.com/>

公式アカウント：

SoundCloud | <https://soundcloud.com/soundsgoodlabel>

YouTube | <https://www.youtube.com/channel/UCfZVBAfrE2Z1W4mV40CebHg/videos>

Twitter | @soundsgoodlabel

Instagram | soundsgood.label

コンテンツ聴取可能環境：SoundCloud、YouTube、Spotify、Apple Podcasts、Google Podcasts

※ヘッドホンやイヤホンでの聴取を推奨。

■ quantum について (<https://www.quantum.ne.jp>)

quantum

quantum は、未来のビジネスを生み出すことにこだわるスタートアップスタジオ。
世の中にこれまで無かった新たな価値を提供し、わたしたちの未来を想像の一步先へと塗り替えます。
未来のビジネスを<いま、ここで>起動するための様々な専門性を持つ社員と機能を備え、連続的に
新しいプロダクトを生み出しています。

<本プレスリリースに関する問合せ先>

quantum 広報:木村俊介 尾形亜季

電話 : 03-5446-7203 FAX : 03-5439-5730 e-mail : info@quantum.ne.jp